

Koyomi

2021 | 令和3年

vol.41 3/20 発行

CONTENTS

Smile Pick Up!	1
令和2年度管理者研修会	2
NEXTAGE	3
施設長リレーコラム	4

小さいころから憧れ、
目標としていた
介護の仕事。

Smile Pick Up!

ねづ ゆうや 根津 雄也さん

所属 / 特別養護老人ホーム坂戸楽生園

職種 / 介護職

経歴 / 南魚沼市生まれ。

看護専門学校を卒業後、
看護師として病院に就職する。
その後、介護職として
(福)曙会に入職。

休日の過ごし方 / 家事、動画視聴

コロナ以前は接触感染・飛沫感
染・ノロウイルスやインフルの対策
等について考えてきましたが、今
は空気感染やエアロゾル感染
という、今まであまり触れ
てこなかった感染対策を
とらなくてはならなくな
りました。職務中にも
その知識が不足してい
ると感じる事が多い
ので、現場に活かせるよ
う学んでいきたいです。

●今後学びたいこと

6年目になります。

●福祉に興味を
持ったきっかけ

小学校低学年のころ祖父が脳梗
塞で右半身麻痺になり、祖母が介護
をしていました。うちは古い造りの
家だったのでトイレも肩を支えて連
れて行かなければならず、けれど文
句も辛そうな顔も見せない祖母に、
幼いながら介護の大変さを思い、人
を支え助ける事は良い事なのではと
漠然と考えるようになりました。

進路を介護と決めたのは、中学
生の時に課外学習で地域のグルー
プホームにボランティアに行き初
めて介護に関わった時です。それ
から福祉科のある高校に進み、周
りの勤めもあり看護専門学校を卒
業後、看護師として一旦は病院に
勤めました。ただ僕としてはどう
しても生活を支えたいという思い
があり、今は小さいころから憧れ、
目標としていた介護の仕事をして

令和2年度管理者研修会

2月1日にZoomを使用しライブ配信研修として開催しました。事前の接続テストでは音声聞こえないなど戸惑う場面もありましたが、当日は講師の天野尊明氏から報酬改定について幅広くお話しいただき有意義な研修となりました。



講師／天野 尊明 氏

テーマ

令和3年度報酬改定の動向について

講師

一般社団法人 介護人材政策研究会
代表理事 天野 尊明 氏

参加方法

Web (Zoom)

受講施設

118施設

参加者の声

第1 ブロック

初めて参加しました。概要的ではありましたが細かく要点を知ることができ良い研修だったと思います。ただ、今回のように膨大な資料で双方向の研修でないのであれば、タイムリーでなくても良かったのかもしれない。特養や短期等、重複する箇所があって難しいでしょうが、事業形態毎のタイムスケジュールを事前にわかっていると効率よく聞けたと思います。

(特別養護老人ホームゆり花園)

第2 ブロック

大変良い研修でした。特にCHASE・VISITは資料にも記載されていたが、詳しく聞けて良かったです。また講師の声も聞きやすかったです。本事業所は佐渡にあり、職種の異なる職員(5人)で共有できたのがWebの良いところだと思います。

(特別養護老人ホーム真野の里)

第2 ブロック

全体的には0.7%改定ですが実質は0改訂、また改定内容の基準を満たさないと減算されるので、そうならないよう準備していきたいです。内容はボリュームがあったがポイントがよく絞られていて良かったと思います。

(デイサービスセンターてらお園)

第3 ブロック

非常に勉強になりました。法人として2拠点、10事業所ありますが、それぞれの加算の算定の仕方が分かって良かったです。Zoomでの視聴も支障なく、不都合もありませんでした。ぜひ、またこのような機会があれば参加したいです。

(てまりデイサービスセンター)

第4 ブロック

厚労省からの一方的な資料ではなく、老協協的な視点から読み解けました。実質0改訂なのは読んでいて分かっていたが、講師から話を聞いてなるほどと合点できました。また、今年度までは食費の消費税については持ち出しでしたが、改定されて良かったです。今後の要望としては、豪雪地域にある施設なので冬場の除雪費に対する加算があればと思います。

(特別養護老人ホームほくほくの里)

第5 ブロック

老協協等のご尽力により0.7%改定は意義のあるものだと思います。資料も見やすく限られた時間内ではありましたが要点をお話いただき分かりやすかったです。新しい科学的介護推進体制加算には個人のケースをデータベースとして活用することが必須となっていて、データの項目量や入力頻度等、職員の負担も増えるので注意して対応していきたいです。

(特別養護老人ホームみやまの里)

たくさんの皆様から受講いただきありがとうございました。



閉会挨拶／高橋会長



これからの!

21世紀委員会!

「介護の未来と対話の必要性」

21世紀
委員長
(研修担当)



ホームヘルプステーション福住 管理者

えんどう しんいち

遠藤 真一 さん

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により会員施設の皆様も様々に大変ご苦労され、今も終わりが見出せない状況の中にあると思います。新潟県老協の活動も大きく制限を受け、21世紀委員会も同様にほぼ活動ができない1年を過ごしてきました。

その間に、全国老協、新潟県老協においても（偶然ではありましたが）21世紀委員会の今後のあり方について検討がなされてきました。この感染症流行拡大の中、その必要性和重要性があらためてクローズアップされた

「介護」をリーダーの役割を担う職員

がどのように捉え、どのように未来像を描いていけるのか。感染症流行下における新たな生活様式を踏まえつつ、「介護」の未来とそれを取り巻く諸課題について喧々諤々と対話できる場がますます必要なのではないかと感じています。新年度は新たな体制のもと再スタートを切ることができるよう準備を進めてまいります。ぜひ皆さまからの積極的なご協力、ご参画をお願いいたします。

令和2年度カントリーミーティング プレ開催の参加報告

報告

21世紀副委員長(総務担当)
特別養護老人ホームにしかりの里
施設長

やまだ まさひと

山田 宥人 さん

全国老協の「21世紀委員会・カントリーミーティング」は、19年間に亘り現場の声を集積し、課題に向き合ってきましたが、昨年2月26日・27日に開催予定だった関東ブロック千葉大会は、新型コロナウイルス感染症に関する国内状況により中止となりました。

今年度も全国各ブロックで開催が中止となる中、去る1月26日午前9時30分から午後5時30分まで、Zoom及びオンラインホワイトボードMiroを使用したWeb研修、「令和2年度カントリーミーティング」がプレ（試行的）開催されました。開催趣旨としては、2035年の超・超高齢社会を乗り越えるため「次世代を担うリーダーの育成」「介護現場の課題」「ネットワークの構築」「介護現場の革新」などの活動目標を明確にし、次年度以降に活かそうというものです。

参加した各都道府県、指定都市の21世紀委員会の代表者48名が8チームに分かれ、「見たことも、聞いたこともない、介護現場をガラリと変える方法」と題し、合同会社JudgePlus代表および慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 特任助教の広瀬毅氏他3名を講師に迎え、介護現場におけるシステム×デザイン思考をより論理的に、またイノベティブ（革新的）思考の構築を

オンラインという不自由に思われる環境下で、各委員とコミュニケーションを取りながら研修を進めました。

しかしそれは、コロナ禍での新しい研修のスタイルであり、渦中であっても高齢社会が進んでいく中で、介護福祉を支える人材が新しい視点で課題に向かうための素晴らしい研修スタイルだったと思います。今後は介護現場にこそICT・IoT化が導入される中で、これまで考えもつかなかった方法などを、私たちが見出し、取り入れ、発展させていければと感じた研修でした。



講師/広瀬 毅 氏

施設長 リレーコラム

連載 | vol.41

笑顔が 一番 顔晴れ!! ガンバレ



特別養護老人ホームコスモスの里
園長

なりた たえこ
成田 妙子さん



熱々
コロッケ定食

施設 概要

特別養護老人ホームコスモスの里

- 事業所所在地 ● 阿賀野市飯森杉437-2
- 運営事業者 ● 社会福祉法人阿賀北総合福祉協会
- 事業所の種類 ● 特別養護老人ホーム/41名 ショートステイ/8名
地域密着型特別養護老人ホーム/29名
- 連絡先 ● TEL/0250-67-9065 E-Mail/kosumosu@agakita.or.jp

特別養護老人ホームコスモスの里は、社会福祉法人阿賀北総合福祉協会の一つの拠点として、平成13年12月に開設されました。

また、平成24年11月には19床増床、地域密着型コスモスの里が開設されました。現在、従来型特養(41床)・ショートステイ(8床)・地域密着型特養(29床)の事業を展開しております。

当事業所の外部環境は、国道49号線を挟む形で公共設備が点在しており、昔ながらの大農家と新興住宅地が混在している場所に位置しております。平屋建ての広々とした空間が魅力的な施設です。

現在は、今年度の事業方針である、～やすらぎとふれ愛を絆に～「笑顔で対応する・素早く対応する・丁寧に対応する」を合言葉に、職員一丸となり取り組んでおります。

当事業所に限らず、長きに渡るコロナ禍の中、目に見えない苦労を抱えながらの日々、ご利用者の「安全・安心」を第一として対応されている事と思います。そういった環境の中で、今年で4回目となる当事業所の売りの一つでもある「ご利用者の願いを叶える」は限られた内容での実現となってしまう、本当に残念で申し訳ない気持ちでいっぱいです。

いつになりましたら、普通の生活に戻れるのか分かりませんが、今だからこそできることは何かと職員は前向きに様々な催事を計画してくれました。催事のテーマは「ご利用者に食べる楽しみ・喜びを」と題し、さんまの炭火焼・やきとり・ケーキバイキング・餅つき・ワンプレートランチ・餃子パーティ・鯨汁・梅ジュース作り等々数え切れないほどです。とにかく美味しく召し上がって頂く事ができました。そして、沢山の笑顔と喜びの言葉を頂戴する事ができ、職員にとっては、何よりの喜びでした。職員の頼もしい頑張り感謝です。次はどんな笑顔かなと楽しみです。誰もが健やかで幸せに過ごせる日々である事を願います。

手作り餃子の
はじまり～



お先に
いただきまーす



炭火で
焼いたさんまは
格別



どうぞ
召し上がれ

